１０．胃がんに対するＥＳＤ（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数

定義

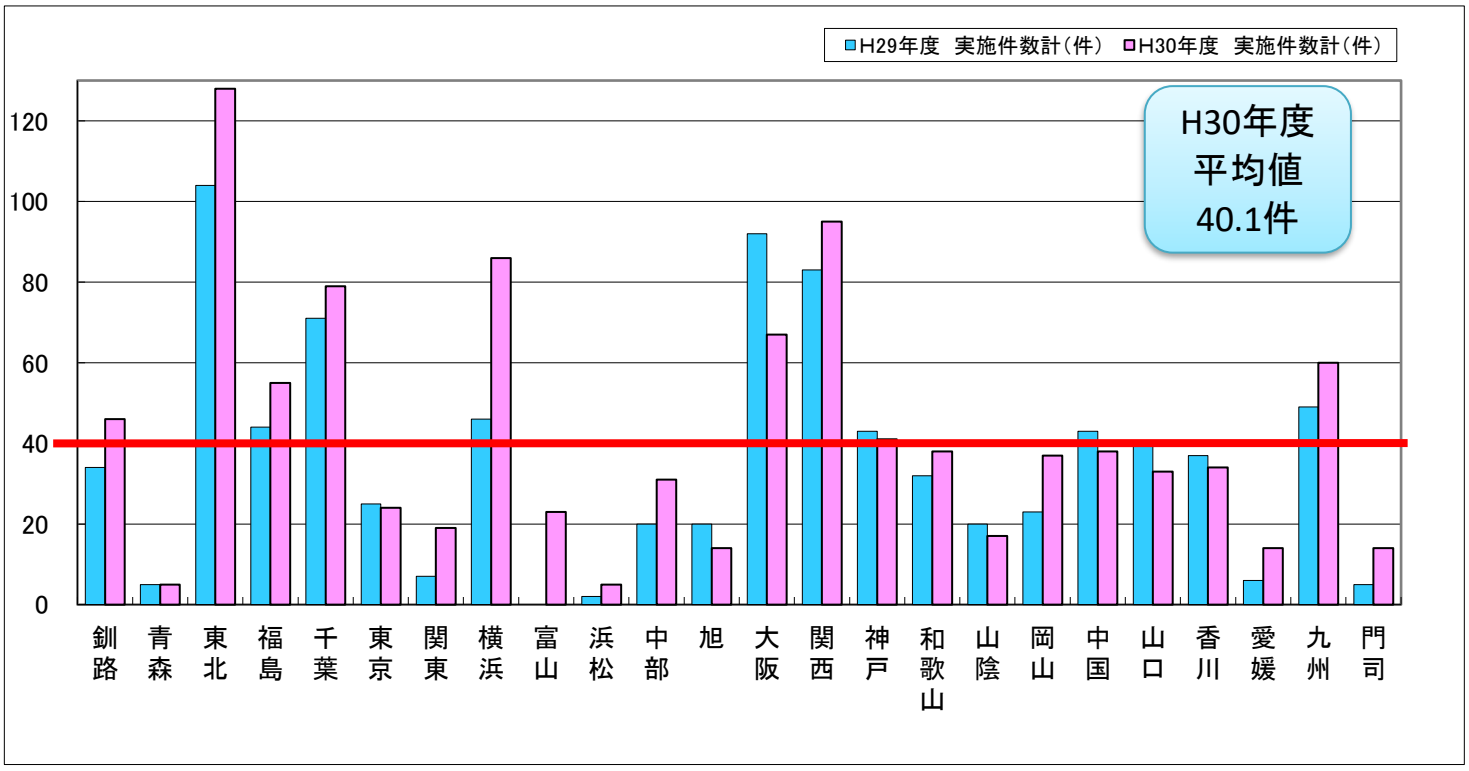
胃がん患者に対し、ＥＳＤ（Ｋ６５３ 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術　２　早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）を実施した件数

指標の解説

施設調査より抽出

ＥＳＤの有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施件数により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

１０．胃がんに対するＥＳＤ（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数



		H29年度			H30年度		
No	施設名	外来	入院	実施件数計（件）	外来	入院	実施件数計（件）
1	釧路	0	34	34	0	46	46
2	青森	0	5	5	0	5	5
3	東北	0	104	104	0	128	128
4	福島	0	44	44	0	55	55
5	千葉	9	62	71	3	76	79
6	東京	0	25	25	0	24	24
7	関東	0	7	7	0	19	19
8	横浜	0	46	46	1	85	86
9	富山	0	0	0	0	23	23
10	浜松	0	2	2	0	5	5
11	中部	12	8	20	0	31	31
12	旭	0	20	20	0	14	14
13	大阪	0	92	92	0	67	67
14	関西	0	83	83	0	95	95
15	神戸	0	43	43	0	41	41
16	和歌山	0	32	32	0	38	38
17	山陰	0	20	20	0	17	17
18	岡山	0	23	23	0	37	37
19	中国	0	43	43	0	38	38
20	山口	0	40	40	0	33	33
21	香川	0	37	37	4	30	34
22	愛媛	0	6	6	0	14	14
23	九州	0	49	49	0	60	60
24	門司	0	5	5	0	14	14
25	長崎	0	1	1	0	15	15
26	熊本	2	16	18	0	24	24
合計		23	847	870	8	1,034	1,042
平均	500 床 以 上	2	57	59	0	71	71
	400 床 以 上	0	34	34	1	37	38
	300 床 以 上	1	25	26	0	31	32
	300 床 未 満	0	8	8	0	11	11

※専門医不在の施設については除外した。